



FDG-PET 前処置の話



PET検査の前は**5時間以上の絶食**が必要なんですよ？ブドウ糖の代謝を見る検査なので、血糖値が高くならないようにするためですか？

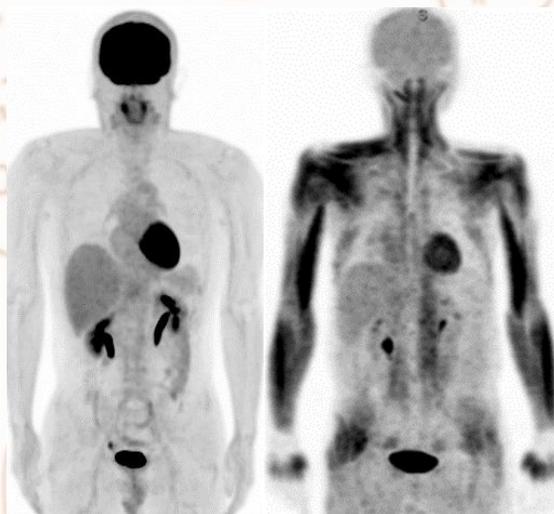
糖尿病の患者さんでなければ、普通食後2時間も経過すれば血糖値は正常じゃ。じゃが、どんな人でも5時間程度以上の絶食は必要なんじゃ。FDG-PET検査の時には絶食の目的は血糖値を下げるためではないんじゃ！



なぜ絶食が必要なのか、仕組みをよく勉強してみよう！

ブドウ糖は臓器が機能するための重要なエネルギー源です。私たちはエネルギー源の供給のために食事をします。食後に血液中に増加し過ぎたブドウ糖は、空腹時のエネルギー源として使うために筋肉、肝臓などでグリコーゲンとして貯蔵されます。（筋肉へのブドウ糖の取り込みを高めるのはインスリンの作用です）。空腹時に各臓器で必要なエネルギー源は、貯蔵されたグリコーゲンから分解されたブドウ糖などで供給されます。つまり、空腹時と食後では、体のなかでのブドウ糖の動きが全く異なります。食後早い時間にFDGを注射すると、筋肉にばかり多く取り込まれてしまい、右の画像のように腫瘍を正しく評価することができなくなるのです。

PET検査前には糖分を摂取しないことが重要なのです。



絶食5時間以上

来院直前に
発泡酒を飲んだ

検査前絶食が必要な理由

高血糖の方でも、検査前にインスリンを打ったりしてはいけないということよ。



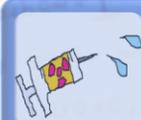
上部消化管検査
・胃の中を空っぽにするため



造影剤を使用する検査
・副作用による嘔吐が万一発生した時に胃内容物を誤嚥しないようにするため(※)



腹部の画像検査(CT、MRI、超音波)
・胆嚢が収縮したり腸管が動いたりするのを防ぐため



FDG-PET検査
・病変のブドウ糖の取り込みを正しく判断できるようにするため

前処置として絶食が必要な検査は複数ありますが、それぞれ、目的が異なります。

造影剤を使用する検査の前(※)には、副作用で嘔吐したりしたときに、誤嚥をすると危険なために絶食にすることがありますが、脱水状態はかえって副作用を起こしやすいため、軽食や飲水は可能です。腹部の画像検査の場合には、腸管の動きや胆嚢の収縮を抑制するために目的によって絶食が推奨されます。

FDG-PETの場合には、固形、液体を問わず(点滴なども含めて)、検査前最低5時間は糖分を摂取することを避けなければいけません。

糖分を摂取してしまうと、高価な検査なのに、目的を果たせない検査になってしまうので、特に注意が必要なのですね。

